

第2回 「さわやか」

総会開催される

新しい方針を決定

九月二日(日)十三時から、小倉北中央公民館で、第一回「さわやか」総会が開催されました。

当日は、役員五名、市賢友会幹事十五名、ボランティアさん四名、オブザーバー五名の二十四名が参加しました。

副会長竹内氏(福岡難病連北九州市支部長)が開会のあいさつをしました。司会は副会長坂倉さん(王子病院MSW)がつとめ、最初に過去一年間の経過報告がありました。副会長小野氏は、「さわやか」が一年間順調に推移したことを報告し、更に、福祉車両「さわやか」号の寄贈を受けたこと、コンピューターの導入をしたことも発表しました。

決算報告と予算案については、山田コーディネーターより、北九州市障害福祉課に提出した書類にもとずいて、報告・提案がされました。運動方針案を江頭副会長が提しました。今年度は、まず、

組織的に大きくなりすぎた「さわやか」を小倉地区(小倉北・南・門司)と八幡地区(八幡東・西・戸畑、若松)に二分割することを提案しました。その他、福賢協や全賢協

「さわやか」を分割

更なる発展を!

「さわやか」の二分割の方針が決定されました。(総会にて)。現在、ボランティア総数63名、利用者30名になり当初と比較すると、かなりの増加になりました。北九州市の小規模作業所というところで助成金を受けていますが、現状は、5〜6人で運営する小規模作業所とは、あまりにもかけはなれてきました。経済的にも、限界にきつっております。「さわやか」新聞の発送だけでも、ボランティア63、利用者30、市賢友会幹事22、個人会員3、役員5、計百一

の方針にもとずき、運動を開くこと、福岡難病連北九州支部と連携を強めること、ボランティア研修交流会を年3回おこなうこと、「さわやか」新聞の発行の継続、役員会の定例化などを提案しました。この提案にたいし、満場一致で採決が行われました。役員改選では、山田幹事(阿部ク)が役員名簿を提案し前年度役員再選(松尾副会長を除き)が決定されました

ボランティアの皆さんの発言

総会の中で、ボランティアさんの意見も聞くというところで、四名の方からの発言がありました。

「利用者の方にどこまでお手伝いしたらよいか判らないできれば、はっきり言って欲しい」「週一回送迎をしているが、あと少し余裕があるのでも思いますが、あまり多くして、休むことが多くなるにます話をすることからはじめています。

コーディネーターは、一人希望者が立候補されていますので、面接の上、お願いをしようと考えています。事務所が決定すれば、12月からでも、準備にかかり、出来るだけ早い機会に発足する予定です。

ボランティアさんは、基本的に双方の地区に別れていただきます。例外的に小倉地区居住で八幡地区の利用者を送迎している人などは、「さわやか」の方で調整をして、ボランティアの皆さんと相談をさせていただきます。

ボランティアの皆さんが、

のも迷惑がかかるので、今くらいが丁度よいのでは」などの意見が出されました。

「以前、透析をしていて、移植により元気になった。週一回しか出来ないが、出来る限り長くお手伝いしたい。又友達にもすすめていきたい」「週3回していますが、若松地区の人手がなければ週一回くらいは行ってみたいです」又、ボランティアとしての気構えや応募した動機などを話していただき、参加者に大きな感動を与えました。

「さわやか」設立一周年記念

ボランティア 研修交流会

時：11月9日(日) 11時

所：  LA PLAGE RESTAURANT

参加費：2500円

オーバーワーク(働き過ぎ)にならないようにすることが「さわやか」長続きの秘訣です。遠慮なく、事務局にご相談してください。詳細が決定したら、逐次ご報告させていただきます。

設立一周年記念

ボランティア

研修交流会

第2回通院介護センター「さわやか」総会が開催され、年3回のボランティア研修交流会をすることが決定しました。この方針にしたがい、11月9日(日)11時より、北九州市立国際会議場内にあるシーサイド・レストラン「ラブラージュ」で行います。この研修・交流会は「さわやか」設立一周年の記念行事として、開催します。

現在、全賢協でも、通院介護事業を全国各地で展開しようとして試みられています。そこで、全賢協からも、視察を兼ねて参加の予定です。また、佐賀県腎臓病連(協)協議会からも視察団が派遣されそうです。当日は、30分ほど記念行事をして、その後は、バイキング料理を食べながら、ボランティアさん達の交流を深めようと企画しています。

「ラ・ブラージュ」は国際会議が行われた時に、食事を賄うレストランです。ボランティアの皆さん全員参加を期待します。会費や詳細はチラシを読んで下さい